※令和７年度以降入学生用

学校番号	3029

令和８年度　理数科

教科	理数	科目	(学)理科演習	単位数	物理または生物とあわせて１単位	年次	２年次
使用教科書	化学基礎（第一学習社）						
副教材等	問題集：セミナー化学基礎（第一学習社）　チェック＆演習 化学基礎(数研出版) 資料集：サイエンスビュー化学総合資料（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２年後期からは、これまでに学習した内容がどれだけ定着しているかを確認しながら、授業や演習課題に取り組んでいこう。基礎計算(物質量、体積、濃度など)を苦手とする人は、目標を決めて計算問題に取り組もう。計算を得意とする人は、暗記すべき内容を中心に復習していこう。３年次では演習を重ね、大学入学共通テストで実力を発揮できるように進めていく。

①　授業

教科書と資料集の二点を用いる。どちらも視覚的情報が豊富で、直感的な理解を助けるものとなっている。プリントを中心として授業を展開するので、講義でノートが必要かどうかは初回授業時に担当教官の指示を仰ぐように。

②　家庭学習

各自でノートを用意し、問題集を解き進めていこう。問題集は「チェック＆演習 化学基礎」および「セミナー化学基礎」を用い、計画を立て、苦手分野を重点的に解き進めていく。

「チェック＆演習 化学基礎」は１年で既に購入済み。単元別なので、系統立った復習に適している。校内実力考査(２年１月、３年５月、８月)、外部模試ごとに目標を決めて取り組もう。

2　学習の到達目標

物質がさまざまな場面で人間生活にかかわり、役立っていることを理解し、物質の構成や物質の変化に関する見方や考え方を養うとともに、物質を探究する方法を身に付ける。また、演習課題に取り組むための力を身に付けていく。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	科学や数学における基本的な概念や原理・法則などを系統的に理解し、知識を身に付けている。観察、実験の基本操作及び自然の事物・現象を探究する技能を身に付けている。また、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし探究する過程を通して、事象を科学的、創造的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。また、数学的な見方や考え方を身に付け、事象を数学的、創造的に考察し的確に表現している。	自然の事物・現象や数学的事象に関心をもち、積極的にそれらを探究しようとするとともに、事象を科学的・数学的に考察し表現する態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和７年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間考査まで	濃度と溶解度	質量パーセント濃度とモル濃度 濃度の換算、溶液の希釈 溶液の調製 飽和溶液 溶解度と温度 固体の溶解度と再結晶	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:長い文章や実験、グラフや表を読み解く問題に取り組んでいる。 c:質量パーセント濃度・モル濃度・溶解度を用いて、溶液を定量的に取り扱うことに関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題
	酸と塩基	酸・塩基の定義、価数 酸・塩基の強さ 水溶液の酸性・塩基性とpH 指示薬とpH測定 中和滴定と滴定曲線 塩の性質と反応	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:長い文章や実験、グラフや表を読み解く問題に取り組んでいる。 c:酸と塩基、pH、中和、塩、滴定実験に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題
後期期末考査まで	酸化と還元	酸化・還元の定義と酸化数 酸化剤・還元剤とその強さ 酸化還元反応式のつくり方 酸化剤と還元剤の量的関係 酸化還元滴定	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:長い文章や実験、グラフや表を読み解く問題に取り組んでいる。 c:酸化・還元に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題
	電池	金属のイオン化傾向 金属の反応性 電池の原理 ボルタ電池、ダニエル電池 鉛蓄電池、燃料電池	a:基本的な概念を理解し、知識を身に付けている。 b:長い文章や実験、グラフや表を読み解く問題に取り組んでいる。 c:金属のイオン化傾向、電池の原理・歴史、実用電池に関心をもち、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査	定期考査	課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度